

## 図書館実習どうだった？：参加学生による座談会

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 嶋崎, さや香 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/4907">https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/4907</a>

## 図書館実習どうだった？

— 参加学生による座談会 —

嶋 崎 さや香

はじめに

司書資格の取得を目指している学生の多くは、次のような疑問を持った経験があるのではないだろうか。「図書館は好きだけど、図書館実習に参加したらどんなことをするのか」「参加する時に、どんなことに気を付けたらいいの?」「授業で学んだことを忘れてしまっていたら、どうなっちゃうの?」と。

こうした疑問に対して、教員は、「絶対のためになるから、ぜひ参加して」とか「授業で学んだ知識が、体験を通じてさらに深い学びにつながるよ」といったアドバイスができる程度であった。あるいは、研究室まで訪ねてきた学生には、先輩たちの「実習日誌」や「報告書」、教員が撮りためた実習風景の写真を見せながら説明することもあった。

しかしながら、質問に来る学生が求めているのは、こうした教員

のアドバイスだけなのだろうか。彼女たちが感じている不安や心配に寄り添って、背中を押してあげられるような情報を提供できないだろうかとも考えていた。

そんな中で、二〇二一年度の実習が始まった。この年は、本学では初めて、公立図書館での実習が実現できた記念すべき年であった。また、実習希望者が六名と、例年の三倍近い人数が集まった。しかも、五日間の実習を終えた学生たちが、いずれも楽しげに自分たちの体験を語り、相互に共有していたのであった。その姿を見られるうちに、「この生き生きとした体験談を残すことができたら、これからの学生にとってとても貴重な資料になる!」と確信したのである。

そこで学生たちに「座談会をしてお互いの体験を語り合い、その内容を後輩たちに伝えてくれないかな?」と提案をしたところ、「実習前は自分たちも不安だったので、役に立てるのであれば、ぜひ!」と快諾してくれた。本稿は、「図書館実習ってどんなことを

するの?」とか、「困ったことがあるとしたら、どんなことだろう。」という疑問や不安にこたえることを目的として、二〇二一年度の実習参加者たちの座談会をまとめたものである。

座談会は、二〇二二年一月二日(金)に、本学図書館三階L301教室にて行われた。まず、パワーポイントを用いて、各自の実習の様子が報告された。その後、座談会が始まった。特に議論のテーマとしたのは、次の三点である。

(一) 実習に行って楽しかったこと、印象的だったこと。

(二) 「図書館でいいな」「必要だな」と思ったこと。

(三) 後輩に向けてのメッセージ、アドバイス。

参加者は次の六名。いずれも四年生であった。なお、実習先の図書館名はそれぞれA図書館からD図書館と表記する。

井上さん、久保さん …… A図書館  
白石さん、安井さん …… B図書館  
高井さん …… C図書館  
吉田さん …… D図書館

司会を高井さんが、司会補佐を久保さんが務めてくれた。以下、座談会では参加者の名字の一字目を使う。「教」とあるのは担当教員の嶋崎を指す。最後に、本稿を『樟蔭国文学』に掲載すること

について、快く了承してくれた六名の皆さんに、この場を借りて、改めて感謝したい。

\*\*\*\*\*

(一) 実習に行って楽しかったこと、印象的だったこと。

高 司書さんって静かな人が多いイメージやん。でも、話したらめっちゃ明るい。私が行ったC図書館は、お昼や休憩にみんなが集まって本の話をして。その中で「本好きならこんな活動もあるからどう?」って、本や図書館の情報を話してくれたりもした。そういうのが、司書さんも私らと一緒にやなあと思っ てびっくりしたし、楽しかった。みんなはこんな「うちの図書館面白いことあったよ」というのはある?

久 A図書館は、ボランティアの人が読み聞かせをやるんやけど、幼児向けの紙芝居の読み聞かせが面白かったな。登場人物が二人でてくる物語で…。あれなんやたっけ?

井 写真とってあるよ。『こぶたのけんか』かな。

久 ありがとう!これ、登場人物がいる場所に立って読むって工夫をしてたんよ。他にもどっちの登場人物のセリフなのか、子ども達に分かりやすくなるように工夫しているのが面白かった。

高 『てぶくろ』って絵本は動物がいっぱい出てくるから、クマと

かイノシシは声低めになっていのはあったけど、立ち位置はなかったな。いいな。

久 声色変えるの苦手やから、そんなやり方がいいなあって。読むスピード変えたりとか、多少の高低差はつけられるけど、声色は難しい。

安 B図書館では、見学させてもらったけど読む機会はなかったな。「はなみずき」っていうボランティア団体さんがやってくれた。ドラゴンボールの悟空の声優さんみたいな声の方がいて、大型絵本を二人で両端から抱えながらセリフを分担してた。

白 読み聞かせ絵本は全部で六冊あって、『もったいないばあさん』とかの物語や手品、仕掛け絵本もあった。ページをめくったら答えが出てくるような。

高 『おめんです』っていう本も、仕掛け絵本だった。すぐにページをめくらないで、「これなんだと思う？」って聞いてから「正解は……」ってのもあったな。

久 あった！クイズ形式で「何かなあ？」って聞いたら、めちゃめちゃ元気な女の子がずばずば当ててた。しかもほぼ正解。

#### 一同 (笑)

【カウンター業務】  
久 コロナやからA図書館ではカウンター業務できなくて裏方がメインだったんやけど、カウンターで面白かったことってどんなことがあった？

吉 カウンターはすごく難しかった。自分から声かけて「こちらにどうぞ」っていうのが「大丈夫か？」って思ってた。最初は不安の種でしかなかった。

久 カウンターの前に利用者は並んだ？

吉 並ぶ時と並ばない時の差がすごかった。並ぶとかなりハラハラした。

久 焦るよね。カウンターでパソコン使ってることが多いけど、あれは何しているの？

安 返却冊数や延滞本の確認とか、カードの申請受付がメイン。あと選書の手伝いをさせてもらったときに、資料の一覧を渡されて、そこに書かれている本を所蔵してるかどうか、一冊一冊検索した。「これはある、これはない」みたいに。

久 それは利用者に見えるとこのパソコンでやってんの？

安 そう。カウンターで！

久 貸出作業に画面変更した後でも続きからできるの？

安 いや、最初からやったなあ。

久 えー。一からかあ。それは大変やな。

吉 D図書館は、バーコードをかざすと別作業になったよ。

高 C図書館は違ったから「絶対、F10で切り替えしてな」って何度も言われた。

白 F10！これはかなり使ったね。

安 いっぱい使う。

高 パソコン画面の切り替えで必ず使う。

久 違う図書館に行ってるのに、苦勞は一緒なんやね。

一同 (笑)

【装備】

井 私は寄贈本や雑誌の装備(装)がすごく面白かった。特に、表紙に透明フィルムを貼る作業は難しく、なかなかできなかったんだけど、自分なりに工夫していったらだんだんできるようになってきて。それが楽しかった。

高 装備と言えば、本に捺してある印の色や記号も、それぞれ意味があるって知った。上半期に買った本は青、下半期は黒でわけてチェックしやすくしてるんだって

安 すごいな。管理が工夫されてる。

白 新聞や雑誌用の印もあるから色々な種類を捺したな。特に雑誌は懸賞部分(注)が使われないように、わざとそこにかかるように印を捺したり。

安 なぞなぞの答えとかね。

高 本の修理もやらせてもらったな。背割れを修理したり、破れたページに専用のテープ貼ったりとか。

【利用者との関わり】

高 担当する利用者さんはばらばらだった？私は児童書担当だったから、子どもやお母さん世代が中心だったんだけど。

安 B図書館はワンフロアの図書館だから、全世代が対象やったな。

ちょっとお年を召した方から赤ちゃんを連れのお母さんとか、お母さんと一緒に来たちっちゃい子とか。

吉 D図書館もワンフロアだから、全ての利用者さんだったな。

久 赤ちゃんから大人まで、ほんまに幅広かった。

高 難しかったのは、CDやDVDを貸し出す時。利用者さんと傷がないか確認しながら、同時に貸出業務をやることと、資料が届いたことを電話でお知らせすることだな。あれは緊張した。私は予約してる方が意外と多かたって感じた。だからこれは結構たいへんだったな。

高 あと、赤ちゃん向けの「おはなし会」に参加したら、ちびっこ向けと違ってお母さん達と触れ合う部分が多い。飽きんように話も短くとかね。

【書架は詰めすぎに注意！】

白 実習の合間の時間は、本を拭いたり棚から溢れた本を閉架書庫に戻しに行ったりしたけど、書架に詰める時もコツがあったよな。

安 「絶対きちきちにしないで」って。抜かれへんくなるから。

久 うちも「指一本分はいるくらいに」って教えてもらった。そうしないと、背表紙の上を引くから本が傷む原因になるって。

安 横の棚までずらしながら入れるのも難しかったな。「はいらん！よけるよける！」って。

吉 すごいことになってる。

白 とりあえず入れるたびに、空いているところを詰めるからね。  
井 面白いね。

【返却ポストも千差万別】

吉 返却ポストには入らなかった？私は背が低い方やから、すっぽり入れた。

久 ポストっていうか、もう部屋くらいの広さやってん。マットを敷いてあって。

白 B図書館も四、五人入れる広さだから、部屋みたいだった。  
高 C図書館は一畳くらいの部屋やったな。閉館日の翌日は返された本の数がすごかった。

安 B図書館は授乳室の奥に扉があって、そこ開けたらでっかいマットが敷いてあって、本が積み重なってた。

井 A図書館は、部屋の横扉から本を出して図書館に入れられるようになってた。

教 マットの上に落ちてくるの？ページは開かないのかな。  
久 開いた本はあんまりなかったです。自分も最初見たとき、これで折れへんのかなって思ったんですけど、案外折れてなかったです。

安 優しい人は紙袋に入れてくれるんですよ。

高 でも本の間に利用者カードや読書通帳があると、すぐ電話やな。  
白 一冊一冊調べないとだめなんだよね。驚いたのは薬のバックが挟まっていたときですね。

吉 色々挟まってるよね。

(二)「図書館でいいな」「必要だな」と思ったこと。

【移動図書館】

安 私は移動図書館かな。団地に行ったんだけど、ママチャリに子ども乗せて来る人もいるし、楽しそうに本箱を覗いてる子もいるし。図書館から遠い所に本を提供できるので、すごくいいと思った。しかも、それを求めて人がいっぱい来てるのもすごく。これはなくなったらあかんなって思った。

白 私が移動図書館に参加した日は、天気がすごく不安定で。雨が降ったりやんだりして寒かったんだけど、それでもたくさんの方が来てくれてた。

高 団地やったら、子どもたちが本選んでる間にお母さん同士でお話してる人もいて。そういう時間も大事そうだなあと思った。あと、移動図書館の追っかけしてる利用者さんもおった。

安 常連さん？  
久 顔なじみさん、熱烈やな。

一同 (笑)

久 発表に移動図書館のことが出てきてたけど、担当する人は固定なん？「ここはこの絵本を持って行くけど、あそこはこっちの方がいいかな」って言ってたけど。

高 曜日ごとに担当が決まってて、児童書とそれ以外の担当者が一

人ずつ乗ってた。

久 固定じゃないけど司書さんが行く場所は同じ？

高 そう。だから利用者さんの様子も何となくつかめてるみたいだった。あとC図書館のブックモービルは、中に児童の棚があって、外に大人向けの棚が並べてあった。

白 B図書館もそんな感じだった。どっちかって言うところ児童書が多い。

安 外側に文庫本がガーって入ってるね。

高 移動図書館の本は黒ラベルだから確認もすぐできる。

久 A図書館は大阪市立図書館だから、区によってラベルの色が変えてあった。阿倍野区はこの色、港区はこっちの色って。

安 利用者カードも色で分けられてたな。

井 相互貸借の本も、バーコードの色を変えてあるからミスが防ぎやすくなってたね。

安 B図書館は古い本と新しい本、雑誌でラベル変えてた。

白 雑誌は経費がかかりすぎるから、ICチップは入れてなかったね。

井 A図書館は全部ICチップなかったと思うな。

吉 D図書館も一緒だな。

【学校への団体貸出・コーディネーターの役割】

久 A図書館には図書館のコーディネーターがおって、学校図書館と連携してたけど、これも大事やなって思った。

井 学校で配る資料も作ってあって、かなり密に連携してることも分かったよね。

久 通ってた学校の図書館は、狭くて司書さんもおらんくて。主に図書委員がまわしてたから、公立図書館と連携したら良かったなと思った。

安 同じやで。

久 本が少ない図書館でも、調べ学習の本とか貸してもらえるのは、本当に大事だと思った。

：しばし学校図書館の思い出にふける。専任職員がいた学校、いなかった学校。昼休みしか開かなかった学校と様々。：

【資料について】

吉 D図書館は<sup>(注6)</sup>デジ<sup>(注7)</sup>や点字資料が充実してた。デジ<sup>(注7)</sup>で利用できる資料には資格関連のものもしっかりあった。他にも、郵送サービスを通じて点字資料を利用している人もいた。字が読めることが前提になりがちだけど、そうじゃない人も読みたいものが読めて、情報が得られるように準備しているのが印象的だった。

井 確かにそうだね。

吉 書店は印刷物を扱うのが前提だけど、図書館はそういう情報センターの役割をはたしているんだと思った。

高 デイジーは見なかったけど、対面朗読室はあった。

安 B図書館はデジ<sup>(注7)</sup>も対面朗読室もあった。

高 『はらべこおおむし』は英語版と中国語版があったな。  
井 『ごくまちゃんホットケーキ』も、両方もあったな。  
久 雑誌も中国語や英語が入ってた。『ぐりとぐら』なんかもあった。

安 英語だけじゃないよね。誰でも使える図書館やからねえ。

【利用者同士を繋ぐイベント】  
井 資料といえば、A図書館では「思い出のこし<sup>（注）</sup>」とか「ワンピース<sup>（注）</sup>」ってイベントをやってた。

久 そうそう。大阪市立図書館全体の取り組みとしてやってた。

井 地域に関する思い出を図書館が集めるイベントなんだけど、すごく面白かった。図書館と利用者だけじゃなくて、利用者同士も繋がることのできる方法を初めて知れた。

高 地域資料を集めるんじゃないかって、作ってる感じやな。

井 利用者がオススメ本を投票する「ワンピース」も良い企画だと思っただ。

安 第一回に選ばれた絵本は『はらべこおおむし』で、前回の七回目には『ミッケ』なんやな。

井 ワンブックのイベントを見てると、「こんな本があるんだよ」とか「他の人はこんな本をおすすめしてるんだね」って利用者さん同士でも交流できる場所になっていて、そういう場所があるのがいいなと思っただ。

【大人も学ぶことができる場所】

白 B図書館は編み物やDIY講座、調べ学習コンクールまで、幅広い利用者と密接に関わることで、図書館が「何かを学ぶ場所」になっていた。学びの機会を失わないという意味ですごくいいと思っただ。

高 C図書館は館内に作家の今東光資料館<sup>（注）</sup>があるんだけど、イベントをやりながら資料館にも行ってもらう。地域資料の展示スペースがあるのは大きい。

久 A図書館にも能や歌舞伎の展示があったんやけど、そこから借りてく人も多くて、自分の知識を広げる機会になってる感じがよくわかった。大人になったら学校とかもないし、先生とかも周りにおらんから、そういう情報を調べるとか提供してくれる所がない。図書館にはそうした場所や機会があるんやなって、改めて思っただ。

## （二）後輩に向けてのメッセージ、アドバイス。

【実習に参加するタイミングは？】

教 皆さんは、司書資格課程のほぼ全ての単位をとってから実習に参加したけど、講義形式の概論系科目を取り終えたタイミングでも、実習に行くことは可能そうだった？

吉 概論系科目だけだとかなり厳しい。

安 最後が「図書館実習」ってくらいの方が、余裕ができると思っただ。



吉 「情報資源組織演習B」とか、すごく難しくてNDC番号を付けるのしんどかったけど、でもあれがあってこそ、この本はこういう分野でこうなってるはずっていうのがわかった。

久 授業受けてないと思いつく知識もない。「あ、それ授業でやった」って思い出せる知識がないと、何をしてるのか分からん状態になる。

安 「これ知ってる？」って聞かれて、「え？」って言うのが申し訳ない。

高 司書さんにお時間とらせてしまおうし。

【事前の挨拶も大事】

吉 あと、D図書館だけじゃないと思うけど、子育てとか大活字本、ビジネス関連なんかの別置がたくさんあった。

久 確かに。番号通りかと思いきや、別置やったとか。

吉 別置はその図書館の特徴を表してるから、実習に行く図書館の強みが見える場所だった。

教 事前の挨拶の時に、別置や館内の様子を見ることはできた？

久 挨拶が終わってから、「ちょっと館内を見てもいいですか」って聞いて、全体を見ることはできるし、その方がいいと思います。

安 そうそう。「ここにこんなものがある」とかね。館内だけでも見せておくと安心する。

井 そうだね。早めに館内の様子は知っておく方がいいと思います。

安 初見で行くより、全然いい。絶対に見たほうがいいです。教 とても大事なことだね。来年の学生にも伝えるね。

【NDC番号は二桁くらいまで覚えよう】

安 あとNDCの番号は覚えておいた方がいい！

白 そうだね。早見表が貼ってあるけど、間に合わなかった。

安 司書さんは番号で「これは医療、こっちは園芸」って言いながら棚に行ったりするけど、こちらは迷子、迷子。

久 書架戻しは絶対するから、二桁くらい分からんと困るわな。もう少し覚えておきたかったってなるよな。

高 一番多く出るのはやっぱり「九」番台(注1)だった？

吉 「九」は一番でるね。あとさっきも話したけど別置も覚えなないと大変だと思う。

高 別置は難しいよね。『ノンタン』や『アンパンマン』なんかの人気シリーズが別置されたり、紙芝居コーナーの裏に戦争関連資料があったり。NDCともずれてるから、最初分からなかった。

白 B図書館はハーレクインや韓ドラ関係が別置されてて、最初見たときは驚いたな。

安 ちょっと上の世代向けなのかな。他にも医療や介護コーナーも別置されてた。

【その他、思いっくままに】

高 図書館への興味をずっと持っていた方が良い、って言いたい。

あと授業をしっかり受けていたら、「滅茶苦茶これが分からん」みたいなことはないはず。分からなかったら「ここがこう分かりません」と聞けば丁寧に教えてもらえる。

安 最初の二日間は緊張して、司書さんに質問とか全然できひんけど、聞けば丁寧に教えてくれるから「怖い」とか思う必要はない。

久 「図書館実習」は選択やけど、司書を目指してるんやったら、絶対行っただほうがいい。知識が定着するし、応用もできるし。なにより「図書館で楽しい」って気持ちが増したから。

吉 私も図書館に対する愛がより深まった、というか、沼にはまっていたいになったかな。実習で図書館の大変さだけじゃなくて、図書館ごとにやり方や工夫が違うんやなっていうこともよく分かったし。

白 例えば、どんなところ？

吉 絵本の分類記号が一番分かりやすいかな。絵を描いた人か、文を書いた人かで配架場所が違うよね。あとカウンター業務の大変さは体験しないとわからない。「貸出・返却だけで簡単なんじゃないか」って思われがちだけど、実は裏側があるんですよ。そこは見やんとわからん。

安 それは言いたいな。

井 私には教科書に書かれていないこと、授業では雰囲気しか分から

なかったことがたくさんあるなって。現場だからこそ分かることが色々あるから、図書館実習って行く価値のあることなんだって思いました。

白 教科書に載ってなかったことが学べるのは本当だと思う。あと、図書館の仕事を誤解している人がたくさんいるよね。「ピッてる人」って。

久 おる。これは、ほんまによく聞く。

白 「実習なんて行く価値あるのか」って言われたことがあった。高 グサツとくるよな。

久 うちもそうやったな。図書館で「ピッてるだけやる」って。でも、実習に参加したことで自信を持って「図書館の仕事はこういう仕事で、ものすごくやりがいのある仕事なんだよ」って伝えられるようになった。

高 確かに、分かってもらわれてへんのが実際だから、そこを伝えるためにも大事だと思う。

久 せやな。それは大きいな。

教 座談会の内容を聞いていて、指導してくださった方々のおかげで、とても充実した実習だったことが分かりました。また、皆さんも積極的に実習に取り組んできたんだな、とも思いました。この座談会の内容は、これから司書を目指す学生にとっても貴重な情報なので、冊子にまとめて渡したいと考えています。今日は貴重な体験談を話してくれてありがとう。それでは、座談会はこれでおしまいです。四年間、一緒に学ぶことができて、

本当に楽しかったです。卒業後も、どうぞお元気で。

[注]

(注1) F10…パソコンキーボードにある「F」で始まるファンクションキーの一つ。パソコン画面の切り替えに使う。

(注2) 装備…資料を利用できる状態にするための作業。ブックカバーをかける、蔵書印を捺すなど。

(注3) 懸賞…アンケートに答えた人の中から抽選で賞品をプレゼントするなどの企画。

(注4) ブックモバイル…移動図書館に利用する自動車 (book mobile) のこと。

(注5) ICチップ…管理用磁気テープ。盗難防止のために使う。

(注6) デイジー…録音図書のこと。特に聞きたいページをすぐに選ぶことができるという機能がある。

(注7) 点字資料…点字で情報を記録した資料のこと。

(注8) 思い出のこし…大阪市に関わる思い出を利用者から集めて、図書館資料による補足情報等を追記して公開するプロジェクト。大阪市立図書館が実施。

(注9) ワンブック…お気に入りの絵本に投票してもらい「今年の大阪の1冊の絵本 One Book」を決めるプロジェクト。大市立図書館が実施。正式名称は「One Book One OSAKA (ワンブック・ワンオオサカ)」

(注10) NDC…日本十進分類法 (Nippon Decimal Classification) の英語名称の略語。「エヌ・ディー・シー」と読む。何について書いてある本かを数字で表している。

(注11) 「九」番台…NDCの番号の一つ。九番台がついているのは文学関連の資料。公立図書館では小説など文学に関わる本がよく利用されるので、九番台のNDC番号は覚えておくということ。